【セカンドライフ】セカンドライフを実現するためのしくみづくり～地域の資源をつなぐ～

#セカンドライフ #地域コミュニティ #つながり #地域との関係性 #国分寺 #ちっちゃな縁日 #SNS勉強会 #あそぶんじ

【研究方法】 ✓地域コミュニティの実態把握(関係者インタビュー、活動参加) ✓住民への地域活動に関する意識調査
【対象地区】 国分寺市
【活動報告】 ✓地域活動関係者を対象に地域コミュニティに関する実態についてインタビューを行った。
✓地域で開催されている活動参加(「ちっちゃな縁日」「ぶんじワーク」)。
✓「地域コミュニティの在り方」について考えるワークショップを開催。
✓地域活動運営者を対象に「SNS勉強会」を開催。
【結 果】 ✓自治会や高齢者や子供の居場所づくりを運営する従来型のコミュニティと、新たなつながり方を模索する新興型のコミュニティがあることが分かった。
✓地域住民への意識調査の結果の結果、「今は地域活動に参加していない」と答えた人の内、約半数は「地域活動に関心がある」と答えた。
✓様々なコミュニティが存在しているが横のつながりが薄く、運営者側は「活動を支える人がいない」という一方で、地域住民は「関心があるけど入り方が分からない」といった矛盾が発生している。
【考 察】 既存のコミュニティをつなぐことで新しいコミュニティが創出されるのではないか。
【つなぐための活動】 ① 神社を利用した「ちっちゃな縁日」(期待:既存のスペースを利用できる/神社には健全なイメージがあり参加しやすい/どの地域にもあるので横展開しやすい。)
② 地域活動運営者を対象にしたSNS勉強会(期待:仲間集めや情報収集/コロナ禍におけるコミュニケーション/高齢者の見守りなどSNSの特性を生かした活用)
③ 地域通貨ぶんじの活用(期待:多様な価値交換の機会創出/価値交換に伴うコミュニケーションの創出)
④ ゆるくつながる場「あそぶんじ」(期待:近所で気軽に“やりたい”が実現できる場づくり、コンセプトに共感した人が集まり、新たなコミュニティをつくる/誰でも気軽に立ち寄れるセミクローズドな場)
【まとめ】 当初、セカンドライフを豊かに過ごすための手段として、課題とそれを解決するリソースをつなげるプラットフォームがあれば良いと考えた。“プラットフォーム”と今回私たちがたどり着いた“地域資源をつなぐ”は似て非なるものと考える。前者は、ない物とある物をつなぐ一方向の関係であるのに対し、後者は、誰もがサービスの受け手にもリソースにもなり得る双方向の関係といえる。